

研究課題：遺族ケアにおける悲嘆夢の臨床的活用

領域番号：23K02974

研究種目：基盤研究(C)

配分区分：基金

研究代表者：清水 亜紀子 京都文教大学, 臨床心理学部, 講師

(概要)

悲嘆夢 (grief dream) とは、故人が直接的に登場する夢である。近年、悲嘆夢の研究が欧米で始まり、喪の作業 (喪失体験を受け入れ、立ち直っていく心理的な過程) の指標になるとの見解や悲嘆夢の治療的機能が既に示されている。しかし、これまでの悲嘆夢の研究は、多くの夢を取集して類型化する基礎的な研究と、心理療法での夢の理解や縦断的な調査研究での事例研究の二つに大別され、研究手法としても質的研究に留まっている。その結果、①喪の作業における悲嘆夢を語り共有することの臨床的意義、②遺族ケアにおける悲嘆夢の臨床的な活用方法は、これまで経験的にしか示されてこなかった。そこで、本研究では、上記の2点について、実証的研究に基づいて明らかにする。この研究によって、悲嘆夢を遺族ケアの安全なアプローチの一つとして提示し、遺族ケアについての新たな知見をもたらすことが期待される。